

## 第 23 回 吹田市総合計画策定委員会議事概要

- 1 日 時 平成 25 年 6 月 7 日（金）午後 4 時 30 分から午後 5 時 30 分まで
- 2 場 所 吹田市役所高層棟 4 階 特別会議室
- 3 出席者 別紙（出欠一覧）参照
- 4 配付資料 (1) 資料-1 総合計画審議会（第 1・第 2 部会）の報告（案）  
(2) 資料-2 基本計画（素案）の修正における確認事項  
(3) 資料-3 総合計画審議会基本構想・基本計画（ベース）に対する指摘事項一覧  
(4) 資料-4 総合計画基本構想・基本計画（素案）修正案（ベース）市民自治・行政経営分野  
(5) 資料-5 総合計画策定スケジュール（案）  
参考資料 基本計画（素案）の修正（ルート I ～ルート VII）

### 5 議事内容

- (1) 総合計画審議会（部会）の基本計画（素案）への指摘について

委員長が所用のため、副委員長（教育監）が代理を務める。

（事務局から基本計画（素案）の修正点について、資料-1、2 と参考資料を用いて説明。）

意見 1：基本計画の「1. まちの現状と課題」のグラフの作り方がバラバラである。

回答 1：今後、体裁は整える。

意見 2：グラフの出典が有るところと無いところがある。

回答 2：出典と年度は精査する。

意見 3：参考資料 P99 の指標「地震や水害などに対する防災の満足度」について、満足度の目標値が 100 点となっている。他の満足度を測る指標については、ほとんどが矢印で表されている。100 点というのが満足度を測る指標の目標値のゴールというのは、議論されているのか。また、資料 2 の「大きな視点」の③部長マニフェストとの関係について、「部長マニフェストの内容や方向性と総合計画基本計画との整合が取れているか」とあるが、マニフェストを主にして総合計画基本計画と整合性をとるとするのは表現が逆ではないか。

回答 3：満足度を図る指標については、目標値を語り知れないというところがあるため指標は矢印にしている。危機管理室と再度、指標設定は調整したい。2 点目の部長マニフェストと基本計画の整合の表現については指摘のとおり資料を修正する。

質問 4：100 点や 100% という理想型の数値を指標として設定はしないということ

なのか。

回答 4：一律にそういった数値に合わすということではなく、政策によってあるべき姿を現すということが必要なものもあると考えている。例えば、待機児童対策の指標では、あるべき姿を示し待機児童数を「0」にしている。

意見 5：あるべき姿が当たり前に 100%達成というものであれば、目標値は 100%で現すのではないか。それとも実現可能な数値を書くということなのか。

意見 6：以前の策定委員会でそういった議論があった。審議会では、指標でメッセージ性を持たせるという議論となった。

意見 7：100%などの理想的な数値をめざすのか、実現可能な数値をめざすのか判断を所管に任すと総合計画の指標の考え方がバラバラになってしまう。

意見 8：事務局が全体の指標の表記を見ているので、所管の担当者に助言していれば調整が図れたのではないか。

回答 8：所管とのヒアリングのなかで、満足度を測る指標については数値化が難しいから矢印で表すと言っている。市民意識の割合を表す指標については、各政策により考え方が異なるので、達成可能な数値で表すのか、理想型の数値で表すのかは政策によって説明の仕方があるので違ってくものと考え。市民意識調査の指標については、あるべき姿を現す理想型の数値で表していただきたい。

＜委員長と副委員長（山中副市長）が出席＞

意見 9：満足度の指標の矢印については、市民意識調査の対象者によって数字が大きく異なり、それを目標値として数値で表すのが物理的に無理であるため矢印で表した。

意見 10：指標は PDCA の進行管理のためであり、矢印にして満足度の向上の心意気を示すのはおかしい。心意気を示すのであれば、まちのイメージの現状と課題のところで文章で表現すればいい。目標値は具体的な数値で表す必要があり、例えば、7年間で 10%上げるという表現はわかりやすい。

回答 10：審議会では、指標に意気込みが見えないといった意見があり、満足度を表す指標は矢印表現するようにし、それ以外の指標はできるだけ数値化するようにした。また、指標は市民へのメッセージとなるものであり、メッセージが伝わるような指標となるように所管との調整をこれまで図ってきた。

質問 11：満足度を表す指標以外はできるだけ目標値を数値化するというのであれば、例えば参考資料 P69 の 3 つめの指標は数値を入れることとなるのか。

回答 11：年度推移等から見て数値化をお願いしているが、どうしても数値化できないというところは無理であり、数値化を事務局が強制するというのは諮り知れないところがあるため、今は各所管の意見を尊重して示している。

質問 12 : P89 の満足度を測る指標は、69.3 点以上というような矢印とは違う表現だがこれでいいのか。

回答 12 : この指標についても、満足度を表す指標であり、本来矢印にすべきところである。

意見 13 : 69.3 点以上というような表現をするから、審議会の委員に意欲がないと言われてしまう。

意見 14 : もう一つ指標の考え方として、例えば満足度が 20%の実績があるとして、それが他市では一桁かもしれないが全国トップクラスかもしれない。満足度の指標の上限は一般に 70%程度であり、70%弱でも全国でトップクラスかもしれない。そのため、理想値として 100%を目標に掲げた指標と 70%を目標に掲げた指標が混在すると、比較されその意味合いが薄まってしまう。意気込みを示す心意気は現況と課題の箇所ですべきである。

回答 14 : トップランナーになっている指標は、20%のような数値だとしても説明がつくものであるが、それを一律に行う必要はないと考える。

意見 15 : 指標の表現として「矢印」、P87 の 1 つ目の指標は「矢印+数値以上」、「数値」複数パターンがあり、ベースを示して欲しい。

指示 16 : 表記方法は統一する。「矢印+数値以上」の混在表記はしないように統一する。満足度については、「矢印」にする。市民意識の割合の指標については、数値を入れるが、理想値 100%などを入れるのではなく、実現可能性があるものを目標値というレベルで合わせる。指標によっては実績値とほとんど数値が変わらないものでもレベルが高い数値であれば良いとする。このように統一し、もう一度作業してほしい。

回答 16 : 今まで 2 回もヒアリングした結果統一できていない。満足度を測る指標については事務局で一律化できるが、市民意識の割合の指標は検討された結果をいただきくようなやり方でさせてもらいたい。

意見 17 : 調整をするという意識を持ちながらヒアリングをしないと、いつまでもバラバラのままとなる。

指示 18 : 事務局は、「100%と表記されている指標」と「矢印と数値が併記されている指標」と「市民意識の割合を測る指標のうち矢印で表記されている指標」については、所管と調整し、また、部長にも確認してもらおうようにしてほしい。また、各委員は、担当する所管の指標以外で気づいたところがあれば事務局に知らせてほしい。

指示 19 : 数値目標は、目標の設定根拠を説明できるように理由を明記し、部長のチェックの上で事務局へ返してほしい。100 を否定しているのではなく、例えば、環境では有り得る。

意見 20：目標値の設定マニュアルを作成し、各部に知らせて欲しい。

回答 20：「指標についての考え方」は、本日の議論も踏まえて電子会議室で示す。

(2) ベース（市民自治・行政経営）の修正案について

- ・ 3月29日の審議会（全体会）での指摘については、第1部会、第2部会で出された意見を反映して修正案として電子会議室で示すので、意見があれば出してほしい。

(3) 今後の総合計画審議会等の日程

- ・ 総合計画策定スケジュール（案）に示している網かけをした会議（6/21 第5回審議会、7/12 第6回審議会、7/19 第7回審議会）には、ベース（市民自治・行政経営）に関連する部局の出席をお願いする。

以上

## 1 委員

	構成委員	内線番号	第23回 (6/7)
1	太田副市長	2032(秘書)	○
2	山中副市長	2032(秘書)	○
3	赤野水道事業管理者	2964	○
4	徳田病院事業管理者	2968	○
5	西川教育長	2800	○
6	赤松危機管理監	2130	○
7	牧内総務部長	2060	○
8	門脇行政経営部長	2120	×
9	木下市民生活部長	2221	○
10	木野内人権文化部長	2590	○
11	平野まち産業活性部長	2250	(代理) 中江次長
12	春藤子ども部長	2550	○
13	安井福祉保健部長	2500	○
14	羽間環境部長	2600	○
15	森都市整備部長	2650	(代理) 野上次長
16	後藤道路公園部長	2700	○
17	井口下水道部長	2740	○
18	西山会計管理者	2780	○
19	松中消防長	7100	(代理) 村上次長
20	川上水道部長	47-301	○
21	前田市民病院事務局長	45-210-5102	○
22	原田教育総務部長	2810	○
23	梶谷学校教育部長	2830	○
24	上原教育委員会事務局理事	2839	○
25	川下地域教育部長	2850	(代理) 小池次長

24

## 2 事務局

1	美馬次長	2121	○
2	井尻次長	2121	○
3	中嶋室長	2122	×
4	木下総括参事	2132	○
5	岸本参事	2132	○
6	津田主査	2131	○
7	十川主任	2131	○
8	稲見主任	2132	○
9	藤田臨時雇用員		×

7